



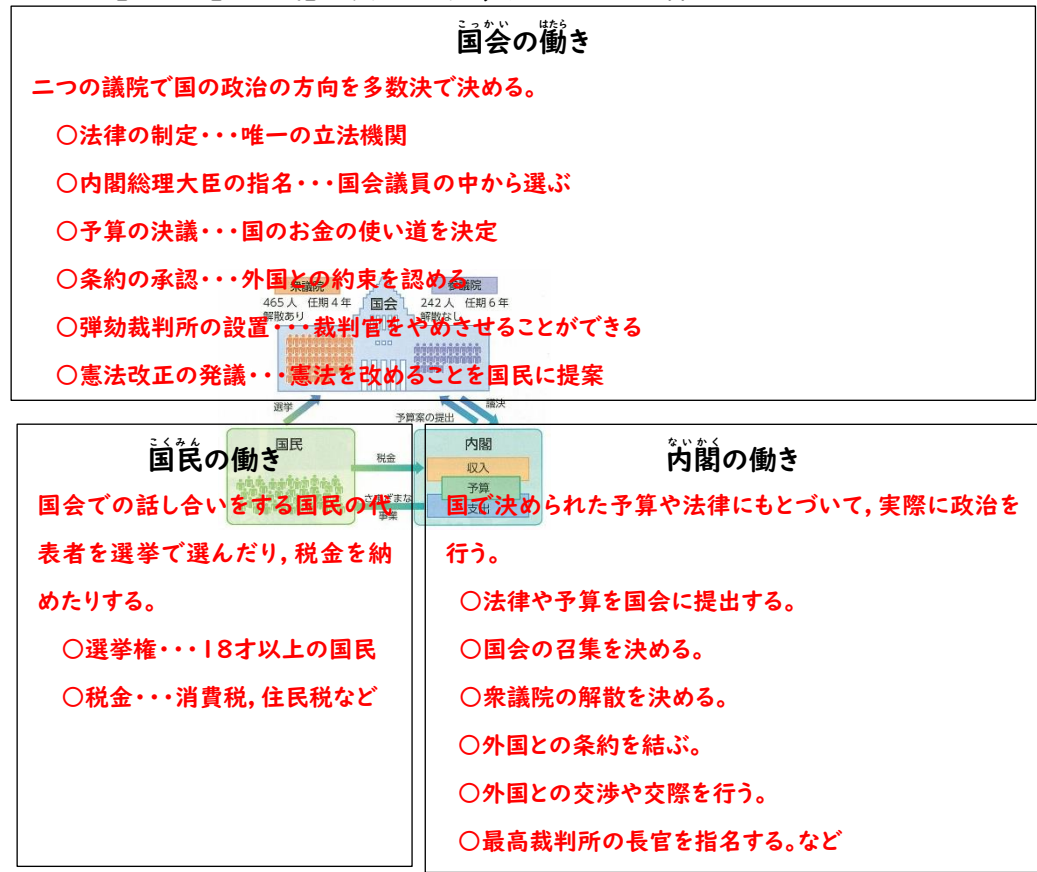
小6社会科『国の政治のしくみと選挙』 名前（ ）

ステップ1（先生の一言）

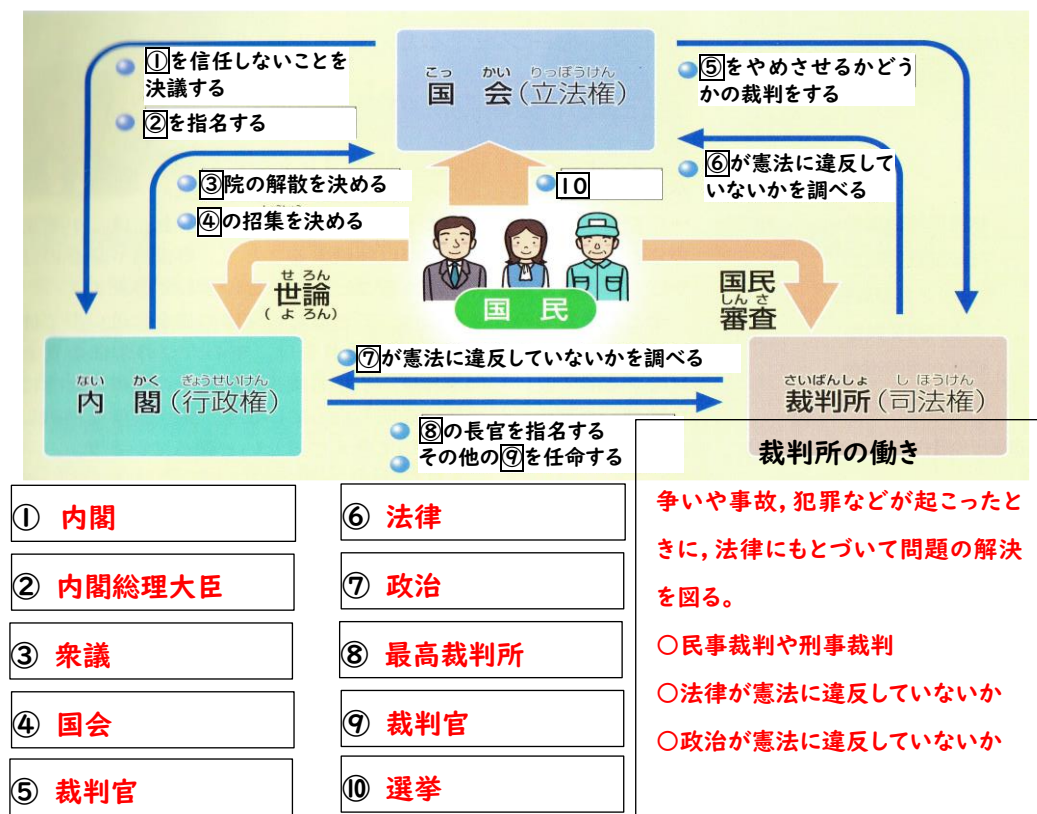
- ・教科書 24～29 ページをヒントに国民と国会と内閣の関係について調べよう。
- ・国会での話し合いは選挙で選ばれた国会議員によって行なわれます。
- ・選挙権は 18 才以上の国民に認められています。
- ・国や都道府県などによる公共サービスにかかる費用の多くは税金でまかなわれています。
- ・内閣は国会で決められた予算や法律にもとづいて実際に政治を行います。
- ・教科書 24～31 ページをヒントに三権分立について調べよう。
- ・三権分立とは、国会、内閣、裁判所が国の重要な役割を分担して行っている仕組みのこと。

ステップ2（自分でやってみよう）

1. 『国民』『国会』『内閣』の働きを調べ、下の図の□に書こう。



2. 裁判所の働きや□にあてはまる言葉を書き、三権分立の図を完成させよう。





小6社会科 『わたしたちの暮らしと日本国憲法』 名前（ ）

ステップ3 (学びを生かしてチャレンジ!)

3. 近年、選挙で投票する人が減ってきていることが問題になっています。なぜ、投票する人が減ることが問題なのでしょう。その理由を考えて書こう(教科書 27 ページ)。

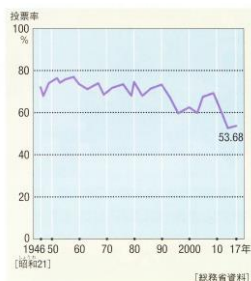


図4 衆議院議員選挙の投票率の推移

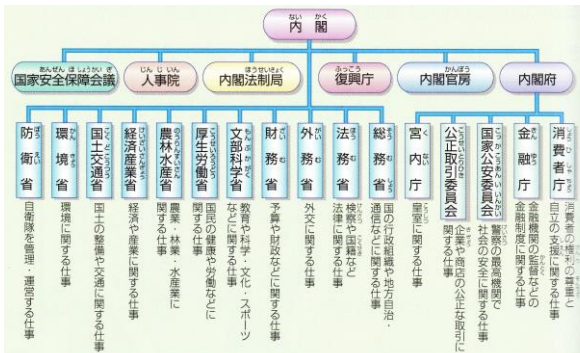
<例>

○選挙で自分が選んだ候補者に投票することは、税金をどのように納め、どのように使うかを自分たちで決めることにつながるから。

○若い人たちが自分の一票を大切にして投票することが政治への参加につながるから。など

選挙で選ばれた国会議員が、国民の暮らしにかかわる法律や予算などについて話し合い、多数決で決めていたね。

4. 内閣のもとで実際の仕事を受けるのは、省や庁です。例えば、財務省は国の予算や財政に関する仕事をしています。財務省にある国税庁では国民から集めた税金を管理しています。では、どうして税金が必要なのでしょう。その理由を考えて書こう。



<例>

○税金は、個人の収入にかかる所得税や住民にかかる住民税など、さまざまな方法で集められる。集められた税金は、学校などの教育や公共施設・道路の整備など、わたしたちの生活を、よりよくするために必要だから

○税金がなかったら公共サービスや公共施設を利用できなくなるから。など

もし税金がなかったら、わたしたちの暮らしはどうなってしまふのかな?教科書27ページをヒントに考えよう。

5. 国の重要な役割を立法、行政、司法に分けて、それぞれの仕事を国会、内閣、裁判所が分担して行なうしくみを三権分立といいます。では、どうして三権分立のしくみが必要なのでしょう。その理由を考えて書こう。

三権分立のしくみになっていれば・・・

<例>

○お互いの仕事を監視して、いきすぎを防ぐことができる。

○権力がかたよらないようにバランスをとることができる。など

三権分立の関係図(教科書31ページ)をヒントにしよう。例えば、国会は裁判所に何ができるかな?逆に裁判所は国会に何ができるかな?